



サイエンスフィールド

SF科学教室

2学期になりました。

きつとみなさんは運動会の練習でクタクタ、お母さんも体操服のお洗濯でクタクタのことと思いますが、がんばってください。

9月の科学教室報告

参加者20名

今回は『光と虫めがね』の実験をしました。前回に引き続き、今回も天気恵まれず、主催者としては不満の残る科学教室でしたが、それでも子供達は晴れ間を見つけては外に飛び出し、一生懸命に太陽の光を集めようと努力しました。

今回のポイント

- ・レンズ(虫めがね)は光を集めることができる。
光が集まった所の周りは影になっている。
- ・レンズ(虫めがね)は熱線も集めることができる。
だから、虫めがねで紙を燃やすことができる。
光を集めると真冬にご飯を炊くことだってできる。
東北大学には4000度の高温をだせる太陽光反射炉がある。
- ・身のまわりにあるものは、光を受けて光をだしている。
- ・蛍光灯の光を虫めがねで集めると蛍光灯の形が映る。
- ・月の光を虫めがねで集めると月の形が映る。
月は太陽の光をうけて光を出している。
月の太陽の光を受けていない所は光をだしていない。
- ・景色を虫眼鏡で集めると逆さまに映る。

[10月の予定]

- | | |
|----|----------------------------|
| 日時 | 平成16年 10月2日(土) 10:00~12:00 |
| 内容 | 30倍の世界(虫めがねや顕微鏡で見てみよう!) |

● 難波けいすけくん 紙を光で燃やせることが、びっくりです。

● 川平さあやさん せんぶ楽しかったです。

● 永谷圭吾くん 太陽の光は火をおこすのにも大切なんだなと思いました。たとえばオリンピックの聖火。虫めがねやつラスつで新聞紙の黒い所に光を集めると、煙がでて燃えるとは思いませんでした。カメラは写真よりもあっと前にあったと書いてびっくりしました。

石浦先生、また入院しちゃうらしいですね。
はやく元気で退院してください。



● 平井玖実さん 楽しかったよ。話もよく聞けたよ。

● 川平大希くん 実験をあまりしていないから、楽しくなかった。

● 酒井隆太くん ルーペ以外で黒い紙を燃やせることを初めて知った。
またやりたい。

● 難波ゆいさん 楽しかった。ちょっと難しかった。またやりたい。

● 板野由奈さん 虫めがねで外の景色が見えたい、ルーペが逆に見えたいしてとっても面白かったです。

● 西原朋哉くん ビー玉をもらって、よかった。

● 田口鈴乃さん ビントを合わせるのが難しかった。でも、楽しかった(^0^)

● 酒井千春さん 黒い紙を虫めがねで燃やしてみた、すごいと思いました。また実験してみたいです。

● 多田尚史くん 色々な物で紙を燃やせることが分かった。家でも実験したい。

● 三宅隼人くん 冬の太陽で米が炊けることには驚かされました。

- 西原克哉くん いろいろな虫めがねがあって、楽しかった。
特に水が入った虫メガネが面白かった。
- 平井躍視くん 太陽のことがよく分かった。
- 水谷健太郎くん 太陽はあこいなと思う。
- 薬師寺大地くん 日光が少なかったので、うまく新巻が燃やせなかった。



科学教室のあと、福井も執筆している『わくわく科学マジック』という本の販売を行いました。この本は科学の入門編として、科学の実験に興味はあるけど何からすればよいのか分からないという人のために作りました。季節や場所、難易度や危険度などで検索ができるように編集しています。パラパラめくっていると自分の気に入った実験がきっと見つかる、そんな本です。この本をきっかけにして自分で実験をし、一人でも多くの子供に理科好きになってもらいたいと願っています。

今回は、この本のイラスト担当の森永先生が直筆イラストとサインをしてくれました。

まだ購入されていない方は、ぜひ10月の科学教室の際にお買い求め下さい。定価は1300円＋税ですが税はサービスいたします。

また、近所のお友達にも紹介してくださいと嬉しいです。よろしく！

